



～地域と共に成長！～

すみだ北斎美術館 入館者30万人を突破！！

本日、9月8日（金）すみだ北斎美術館（亀沢2丁目7番2号）は、明日9月9日（土）から始まる「大ダルマ制作 200年記念 パフォーマー☆北斎～江戸と名古屋を繋げる～」開催前に、入館者数30万人を突破しました。

開館当初から地域の皆さまと共に、北斎と「すみだ」を盛り上げる文化・芸術分野をはじめとした様々なイベントを開催。区内はもとより、都内各地域から、二世・三世のご家族が集えるスポットとしてもご利用いただいております。

また、葛飾北斎は日本だけではなく、海外からも支持されている世界的な浮世絵師です。このため、ヨーロッパ、アジア、南米、北米などの幅広い国々からの来訪者を迎え入れています。

菊田館長は、「国内外を問わず、大勢の方々に北斎作品や、当館に興味をもっていただいたことに深く感謝しています。お客様が美術館全体を楽しみ、心豊かな時間を過ごしていただけるように、展示作品ばかりではなく、ワークショップやイベントなども充実させていきたい。」と話しています。

今後すみだ北斎美術館では、国内外に北斎や「すみだ」の魅力を伝える場として、また地域に開き、地域とともに、成長し続ける美術館として運営を行って参ります。

<すみだ北斎美術館について>

世界的な画家として評価の高い葛飾北斎は、宝暦10年(1760年)に本所割下水付近(現在の墨田区亀沢付近)で生まれ、90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしなが、優れた作品を数多く残した。墨田区では、この郷土の偉大な芸術家である北斎を区民の誇りとして永く顕彰するとともに、地域の産業や観光へも寄与する地域活性化の拠点として、平成28年11月22日に「すみだ北斎美術館」を開設した。この美術館では、北斎及び門人の作品を紹介するほか、北斎と「すみだ」の関わりなどについてわかりやすく伝えていくため、展覧会をはじめ様々な普及事業を開催。そして、これらの事業活動を通じて国内外に向けて情報を発信し、北斎と「すみだ」の魅力をより一層高めていく。「北斎顕彰を通じて地域に愛着を深める場」「区民の生涯学習の場」「地域活性化の拠点(観光、産業への寄与)」「国内外に向けた情報発信と交流の場」を設置目的としている。※2017年4月29日に入館者数20万人を達成。

<「大ダルマ制作 200年記念 パフォーマー☆北斎～江戸と名古屋を繋げる～」について>

浮世絵師として世界的に有名な葛飾北斎は、実はパフォーマーとしても活躍していました。名古屋（西本願寺西掛所）では、なんと120畳の紙を使い大ダルマを描くパフォーマンスを開催したとされます。そこには、名古屋城下のにぎわいを利用し、自身の「北斎漫画」の宣伝を行った北斎の「パフォーマー」としての横顔がうかがえます。

本展では、こうした当時の北斎の行動が推察される作品群や資料、約150点を一挙公開します。はたして北斎は人々の注目をどう集め、魅了したのか。江戸と名古屋の活気も感じていただきながら、お楽しみください。

【会期】9月9日（土）～10月22日（日）

（【前期】9月9日（土）～10月1日（日）【後期】10月3日（火）～10月22日（日）※前後期で一部展示替えあり）

【開館時間】午前9時半～午後5時半（入館は午後5時まで）

【観覧料】（個人）一般：1,200円、高校生・大学生：900円、65歳以上900円、中学生400円、障がい者400円

